

July 22, 1949

The China Issue

Citation:

"The China Issue", July 22, 1949, Wilson Center Digital Archive, National Archives and Records Administration, Record Group 242, National Archives Collection of Foreign Records Seized, 1941-, Records Seized by U.S. Military Forces in Korea, Shipping Advice 2006, Item 11/36. Obtained by Charles Kraus.
<https://digitalarchive.umd.edu/document/121609>

Summary:

A secret North Korean intelligence file on developments in the Chinese Civil War.

Credits:

This document was made possible with support from MacArthur Foundation

Original Language:

Korean

Contents:

Original Scan

12237

秘

中國新聞

情報

部

임무성 (Seal) 문하과

No. 2-20
156
19 49년 7월 22일

博報

博報

一九四七年八月二十二日

中國國民黨中央軍口事資料集

北平解人民委員會

榮 岳 英

北平解人民委員會

徐州緩署 薛岳

第一緩署 區鴻恩 伯已 調任 豫軍 任 司令

十九集團軍 張雪舟

三軍 (劉湘) (川北)
五軍 (周成) (川北)
四軍 (王鈇) (川北)
二軍 (李天德) (川北)

第三緩署 王輝武

二十集團軍 夏楚中

三軍 (李德) (川北)
八軍 (李德) (川北)
九軍 (李德) (川北)

第三緩署 (馬治宇)

第八緩署 (夏成)

三三集團軍 (李德) (川北)

五軍 (李德) (川北)
六軍 (李德) (川北)
七軍 (李德) (川北)

鄭州緩署 劉峙

北朝鮮人民委員會外務局

第一緩署 胡宗南

三三集團軍 (王仲廉)

三軍 (王仲廉) (豫北)
四軍 (王仲廉) (豫北)

三三集團軍 (劉峙)

三三集團軍 (董釗)

第四緩署 (劉峙)

九軍 (劉峙) (豫北)
十軍 (劉峙) (豫北)
十一軍 (劉峙) (豫北)

第五緩署 (張震)

十二軍 (張震) (豫北)
十三軍 (張震) (豫北)

膠州緩署 朱漢謀

川豫緩署 邓錫侯

鄂豫緩署 潘文華

十四軍 (潘文華) (鄂北)
十五軍 (潘文華) (鄂北)
十六軍 (潘文華) (鄂北)

REPRODUCED BY THE NATIONAL ARCHIVES

中國東北籍介石中將軍正視部隊指揮系統表 五五五九

主任 熊式輝

司令官 杜聿明

副司令官 孫渡

參謀長 鄭洞國

參謀長 梁華盛

19A 總司令

孫渡

60A 副總司令

梁華盛

210 參謀長

陳南又

100A 白肇年

93A 盧濬良

警 200 新澤滙

警 200 顧濤

警 180 許義濬

17A 石覺

40 駱振韻

80 史松泉

50 方定仁

北朝鮮人民委員會外務局

20 趙世章

195 陳林達

160 李理

130 李新

90 趙新

新 5A

140 龍天武

新 300 李濤

200 羅又倫

新 300 李鴻

新 300 李鴻

50 潘裕崑

北朝鮮人民委員會

葉振宇

東北敵軍戰術序列表

九中本屯九夜之日

東北行營

東部保安司令長官部

第一緩堵區

第一集團軍總司令部

七二軍

九二師 (司令部) 司令部 本緩堵區外 榴連司令部 司令部

九三軍

九二師 司令部

九三師 司令部

獨立第一師 (司令部) 司令部

交通隊司令部 司令部 (司令部)

交通隊司令部 司令部 (司令部)

九二師 (司令部) 司令部

九三師 (司令部) 司令部

北朝鮮人民委員會外務局

東部保安司令部

第二緩堵區

十三軍

九四師 司令部

五三軍

一一六師 司令部

東北保安司令部 司令部

東北保安司令部 司令部

東北保安司令部 司令部

東北保安司令部 司令部

東北保安司令部 司令部

第三緩堵區

五三軍

九二師 司令部

六二軍

九三師 司令部

東北保安司令部 司令部

東北保安司令部 司令部

REPRODUCED FROM THE NATIONAL ARCHIVES

東北保安司令部
東北保安司令部支隊
東北警備隊司令部支隊

冀東縱隊

九五師
四三師

東北保安司令部

警備司令部

北平警備司令部

山海關警備司令部

總指揮部

第一軍

新三十八師

東北縱隊

新五師

特務團

新六師

獨立步兵師(即二師)

獨立工兵師

獨立工兵師

獨立工兵師

獨立工兵師

獨立工兵師

獨立工兵師

獨立工兵師

獨立工兵師

獨立工兵師

直轄部隊

大華兵團

第一大隊(表名不明)

(即旅長隊)

第二大隊(表名不明)

旅長隊

第五大隊(右圖)

旅長隊

旅長隊

旅長隊

旅長隊

旅長隊

旅長隊

旅長隊

旅長隊

旅長隊

北朝鮮人民委員會外務局

材料來源 - 丁雷杉 1982.11.24 止

情
報
誌

1982年11月24日

國民黨中央調查統計局沿革
及時期

北朝鮮人民委員會

東亞部 崔英

北朝鮮人民委員會

中央軍陸軍總司令部編制表

一九四九年九月廿五日

總司令

副總司令

副總司令

參謀長

副參謀長

辦公主任

第一署

初二處 (王副參謀長)

(校報) 第三署

初二處

(作務) 第三署

初二處

(編制) 第三署

初二處

第五署

初三處

(附野戰團) 第六署

初四處

第八署

初二處

北朝鮮人民委員會外務局

總務處

總務處

經理處

軍法處

軍械處

軍醫處

工務處

通訊處

外事處

未設參謀長及副參謀長

全國預備軍(中央軍)政用名列表 一九四一、四二編表

陸軍總司令部 總司令 顧祝同 副總司令 湯恩伯 沈漢傑

東北行營 總司令 鄒

東北保安司令部 長官部 (杜聿明)

九四軍 新六軍 十三軍

五二軍 五三軍

七一軍 九三軍

主官駐地 洋後

道 德 部 隊

北平行營 李 榮 仁

第十一戰區(孫連仲)

四集團軍(李 興 中)

三軍 羅 歷 六 (平漢北線) 四軍 (李 振 清) (石 向)

北朝鮮人民委員會外務局

三南集團軍 李 又

十軍 (李 正 述) (平 德 線) 九軍 (李 鏡 九) (平 德 線)

第三戰區 傅 作 義

晉綏邊區 (邢 公 珊)

二二軍 (邢 公 珊) (陝 綏 邊) 二七軍 (何 應 欽) (陝 綏 邊)

東北保安司令部 蕭 卓 山

三軍 (蕭 卓 山) (晉 北) 四軍 (蕭 卓 山) (晉 北)

武漢行營 (程 潛)

第六編練區 周 志 道

八二軍 (周 志 道) (鄂 北) 八三軍 (周 志 道) (鄂 北)

第七編練區 王 陵 基

十集團軍 歐 震

四軍 (歐 震) (鄂 北) 九九軍 (歐 震) (鄂 北)

三集團軍 李 玉 堂

廣州行營 張 發 奎

廣州行營 張 發 奎

五三軍 (張 發 奎) (廣 東) 五四軍 (張 發 奎) (廣 東)

情報部

秘

一九四九年一月

國社黨の由来

北朝鮮人民委員会

外務部高東溼部

北朝鮮人民委員会

國社黨の由來

一九三〇年春季、中國三農紅軍の出現、發展したるに
 叫上海の大部分大學教授（張君勱、張東蓀）の官僚改革
 （滿御銘、徐夢岩）の中國共產黨の力量の増長點を調
 察した。同時の正、國民黨の統制の弱、及び奉天の軍閥
 勢力の増進、國社主義の二つを、中國の前途に對し、
 外交科長文即申す。中國は、近況に於て、
 政治の混亂、國家主義の叫び、羅薩基の新政
 派の又甚家、梁實秋の諸君來、甚至於政界の改革の創見の
 吸收の現況、二つの最初の一定點、若孫の一定點組織
 形式の現況、單只後の羅薩基、梁實秋の北平の「自由評
 論」の現況、一紙刊物を取柄の現況、外人の「自由評論派」
 早見の、馬來、張東蓀の一九三〇年上海の「時事新
 報」を主幹とし、國社主義の主張を、高揚した。一紙
 三年北平の「教育報」の現況、黨綱の修訂の現況
 及び二時張君勱の燕京大學の現況、兩人の商議の
 現況、益世報主筆羅薩基の現況、兩生社の發起の
 組織の二生組織雜誌の發起の、二時張君勱の
 の學生の一部分、政界の現況、北平の總部を設置す
 べし天津上海、武漢等地の、人分部を設立すべし、以て之を、兩
 生時期の二つを、天津、北平の「活動」の現況、
 一面の二つを、當時工農革命の現況、恐怖の現況、表す
 北平の二つを、民族本位の主義の現況、共產主義の、又對

北朝鮮人民委員會外務局

論の現況、一紙刊物を取柄の現況、外人の「自由評論派」
 早見の、馬來、張東蓀の一九三〇年上海の「時事新
 報」を主幹とし、國社主義の主張を、高揚した。一紙
 三年北平の「教育報」の現況、黨綱の修訂の現況
 及び二時張君勱の燕京大學の現況、兩人の商議の
 現況、益世報主筆羅薩基の現況、兩生社の發起の
 組織の二生組織雜誌の發起の、二時張君勱の
 の學生の一部分、政界の現況、北平の總部を設置す
 べし天津上海、武漢等地の、人分部を設立すべし、以て之を、兩
 生時期の二つを、天津、北平の「活動」の現況、
 一面の二つを、當時工農革命の現況、恐怖の現況、表す
 北平の二つを、民族本位の主義の現況、共產主義の、又對

此を提出せしむ。在り方面を以て當時蔣介石の改革の
 本質を以てしんんん。二は地権を分取せしむ。新
 民主政治の口号を提出せしむ。該黨幹部を甲乙の輩を以て
 宣言の、中国の現在を以て改革の、性質論を以て国民党の
 腐敗を以て、共産党の悪化を以て、青年党の頑固を以て、行動
 論を以て国民党の官僚化を以て、共産党の土匪化を以て、青年
 党の學究化を以て、主義論を以て、三民主義の混同を以て
 共産主義の激進を以て、國家主義の首肯を以て、時代論を以て
 国民党の前期革命の、共産党の混乱時代の犠牲者として
 青年党の過渡時代の附庸物としての地位を以てしんんん。
 九八以後、二は當時環境の適應を以て、一般人の口吻を以て
 別が為しの、三は急進的内容を以て、増加を以て、抗日救國の

北朝鮮人民委員會外務局

旗幟を以て、政府の外交政策を攻撃せしむ。積極的の、
 救國運動を提唱せしむ。これに於ては、大部分は、自身の
 要求の反映を以て、同時の、二地位を以てしんんん。
 一は、政権の参加を以て、一手段を以てしんんん。客觀上を以て
 是れは、進歩的作用を以て引起せしむ。一部分は、青年學生の
 好群を以て、同時の、卒業後の出路を以てしんんん。圖謀が
 目的を以て、一部分は、青年群衆の機軸を以てしんんん。一三八派派の
 急進的の、二地位を以て、救工業を以て、華北の激進を以て
 是れ、愛國青年を以て、逮捕せしむ。張君勵を以て、党を以て
 此を以て、容易に吳化せしむ。認識を以て、能るの、四羅陸
 基、湯實秋、張東謙、徐溥霖を以て、相議を以て、党を以て、
 函生記、臨時代表大會を以て、存存を以て、正式を以て、國家社会党を

惟孔曉之在哈也 言其的計其也

抗敵前北哈與盛時之黨多六百人其也北平之百餘人
香港之五千人 南京、上海之七千人 武漢之二十餘人 天津之
五千人 湖南、山東之該黨之支部多也 抗敵初期百餘
人之孔曉之 後之黨人多發展之 停止孔曉之 現抗重慶尚有
黨者四十四多 總部設重慶之 西南各黨之司馬 該黨
之事業機關之孔曉之 其黨多之成分也 大体之 官修政學
在抗統統 進步有 教授等上層分子也 此也

過去因孔曉之內部之兩派之別也 一是張君勱派 一是羅
隆基、梁實秋派也 張派之 陸鼎揚、張以學、孫斯
鳴、馮今向、劉致遠、陳亞夫等也 此也 四離、梁派之 紀之勤等
也 兩派之關係之甚烈也 張君 恒常之學生也 此也

北朝鮮人民委員會外務局

此梁羅等 攻擊孔曉之 梁羅之 亞路之 表示其時已
及變革之 實行孔曉之 張君勱之 王叔東先生之 此也 一公
南書信 是表表也 後 梁、羅之 反對也 此也 此也 此也
此也 因孔之 退黨也 要求孔曉之
該黨之 機關也 再生也 此也 此也 此也
在社會黨 是也 改革也 決定也 此也 此也 此也 此也
是也 此也 此也

四、因孔曉之政治活動

因孔曉之 一九三三年之 能成也 以後 是也 當時一般
愛國心理 青年學生 吸收也 是也 愛國運動 此也
此也 贊助之 態度也 取也 此也 華北救國會 是也 此也
他一方面 是也 此也 張君勱 是也 此也

平和なり。休養の必要あり。有利のあり。戦争は主
 張の矛盾あり。和平を主張する者も、和平を主張する者も、及
 者此の間にあり。和平を主張する者も、和平を主張する者も、及
 戦争の和平を同一の連続の間にあり。世上の戦争は、
 吳法其の如く、任精衛の進出以後、国家社会党の一部分領袖
 人物の漸次、張湯蘇銘等は人物の上海の国家社会党
 政体委員合名義を組織する。任精衛を擁護し
 是殺敵の計あり。重慶の国民党の召集の党大会上の
 某人の演説、湯二及張湯蘇銘等の取柄の如く、張湯蘇銘
 等の張湯蘇銘の取柄の如く、五里半の如く、
 其党籍を取柄の如く、

北朝鮮人民委員會外務局

党の利用を為すの、二共産党を及対あり。張君一節は、
 七有一九三八年青年、毛沢東先生の如く、
 八路軍の任命の指揮を完全の計、
 特選の取柄の如く、主張の如く、
 取柄の如く、及共産分子を融合し、
 此は、
 此の如く、
 数倍以上の、
 統一の如く、
 外交上の如く、
 技術の発展を、
 時極力を、

清稿部

(初)

一九四七年八月九日

東北戰況

北朝鮮人民委員會外事局

東亞部

北朝鮮人民委員會外事局

REPRODUCED AT THE NATIONAL ARCHIVES

敵軍官俘虜一覽表

番	職別	姓	名	數	字	備	考
三軍八師	師長	陳	南文	1		敵俘虜合計是十	
三軍九師	副師長	鄧	麟	1		此師以兵力可	
三軍二師	副師長	陳	南	1			
三軍二師	校以下官	兵	官	4			
合計				5	5		

正規軍及以上擊滅一覽表

七軍八師	一	新軍新三師	一	七軍直轄	破散	數	字
七軍九師	一	新三師	一	別一連			
合計							

七軍人民委員會外務局

合計	四	合計	四	合計	八
----	---	----	---	----	---

敵滅北地方部隊之總數在之

三軍三師、暫三師、獨三師、偽八軍八團、保三團
 保八團、保七團、保七團、昌黎保安團 合計人數數二六七〇名

我軍收復以敵引占領北縣城一覽表

日	我軍收復縣城名	敵軍佔領北縣城	日	我軍收復縣城名	敵軍佔領北縣城
雙	山	一	黎	樹	一
公	五	一	通	化	一
通	一	一	源	一	一

番	總	主管	原存數	消耗數	現存數
新 一軍	軍部	孫立人			
	新八師	李鴻			
	新十師	潘朔端	28,000	5,000	23,000
新 二軍	軍部	廖耀湘			
	新六師	李鴻			
	新七師	李鴻	32,000	7,000	25,000
二軍	軍部	陳炳			
	八七師	黃			
	八八師	韓增			
五軍	軍部	范			
	九一師	范	30,000	6,500	23,500
	九二師	范			
六軍	軍部	范			
	二一師	范			
	二二師	范			
六軍	軍部	范			
	八一師	范			
	八四師	范	30,000	2,000	22,000
九軍	軍部	范			
	八一師	范			
	八二師	范			
十三軍	軍部	范			
	八一師	范			
	八二師	范	30,000	5,500	23,500
十三軍	軍部	范			
	八一師	范			
	八二師	范			
五軍	軍部	范			
	八一師	范			
	八二師	范			
六軍	軍部	范			
	八一師	范			
	八二師	范			

北朝鮮人民委員會外務局

SHIPPING ADVICE # 2006
 BOX # ~~15675~~ Box 11
 ITEM # 36 ~~15675~~

Batch No. 189
 Item # 1122

15675